

Kansai WIE シンポジウム 2019 報告

9月28日(土)に大阪工業大学梅田キャンパスにおいて、「IEEE Kansai WIE シンポジウム 2019 – Enjoy Science, Technology and Your Life!」を開催した。Young Professionals (YP) AG, 同志社大学 StudentBranch, 大阪大学 StudentBranch, 京都大学 StudentBranch, 立命館大学 StudentBranch, 兵庫県立大学 StudentBranch, 関西大学 StudentBranch, 大阪工業大学に共催いただき、企画・広報・会場設備面に関して協力し準備を行った。

シンポジウム前半では、2名の女性技術者による以下の講演が行われた。

- 「リケジョ、のち人事部 ～川下り型キャリアの一事例～」(住友電気工業株式会社 國井 美和 氏)
- 「声で暮らしを便利に ～ワオ感を探し求めて～」(富士通研究所 香村 紗友梨 氏)

講演後、6名の女性企業エンジニア(三菱電機 井上 風彩 氏, 関西電力 清水 久美子 氏, 株式会社 ATOUN 松尾 幾代 氏・鈴木 唯 氏, NTT 荒木 章子氏、富士通研究所 香村 紗友梨 氏)による5件のポスターセッションを行った。特にこれから研究者・エンジニアを目指す女子学生や、進路選択を考える高校生から積極的な質問があり、セッションは大いに盛り上がった。



WIE シンポジウム 2019 企業エンジニアによるポスターセッションの様子

シンポジウムの後半は、全員参加型のグループトークを実施した。「科学とテクノロジーと人生を楽しむためのヒント」をテーマにグループごとに意見交換を行ったのち、各グループでの議論を参加者全体で共有した。

シンポジウムへの参加者は 41 名(うち IEEE 会員は 16 名)であった。IEEE の非会員である若い世代の参加者もあり(高校生 4 名, 大学生・院生 7 名)、シンポジウムの目的の一つである若い世代の女性に科学者・技術者の魅力を伝えることができた。2019 年度は参加者数が少し減った(-5 名)ものの、内容の満足度は確実に向上している。本シンポジウムは WIE AG の年間活動の軸となるイベントとして今後も継続していく予定である。



WIE シンポジウム 2019 参加者集合